



# 連盟だより

http://www.jcfnc.org

2011年1月31日発行 Vol.9



## 年頭にあたって

会長 松浦 功

(Chorale May 所属)

**皆さん、新年おめでとうございます。  
今年も頑張りましょう！**

さて、ブッセの詩に、『山のあなた』というのがあります。落語家の山の阿ナアナで有名になりましたから、ご存知でしょう。

山のあなたの空遠く  
『幸い』住むと人の言う。  
ああ、われ人と尋(と)めゆきて、  
涙さしぐみ帰りきぬ。  
山のあなたになお遠く、  
『幸い』住むと人の言う。

期待し、求めていても、いざ手に入れてみると幻滅。………… 私たちは、これを繰り返しています。受験の山を越えれば灰色の生活はおしまいと思いましたが、そうではなかった。あるいは、理想の男性と結婚にゴールインしたら、全てはばら色と思いましたが、どっこい、そうではなかったという経験はよく聞きます。課長になったら、部長になったら、家を建てたらと期待しますが、青い鳥は、いつも飛び去って行ってしまいます。しかし、期待と幻滅、期待と幻滅の繰り返さない生き方を、私たちはしたいものです。

旧約聖書の箴言というところに、『期待が長引くと心は病む。望みがかなうことは、いのちの木である。』とあります。成るほど、うまく言ったものだな、と私は感心してしまいます。ノーベル平和賞を受けたマザー・テレサは、死んでゆく人のそばにいてあげるといふ、ただそれだけの単純な行為の中に、『幸い』(望み)を見出しているのだそうです。

私たちは、今、どんな世界に住んでいるのでしょうか？ サラリーマン川柳を通して見てみましょう。

- ・ 『先を読め！』言った先輩リストラに
- ・ エコ製品買わなきゃ損とムダ使い
- ・ 首相の座回転率は世界一
- ・ 地デジ買い財布の中も薄型に
- ・ 二人の子 婚活、就活、親カツカツ
- ・ 浮かれるナ結婚話とマニフェスト

2011年ウサギの年、ホップ、ステップ、ジャンプと調子よく飛べますように。5月のサンマテオ・カレッジでの合同合唱祭が成功裏におわりますように、また、7月4日の独立記念日に行われる松井秀樹のA's と、イチローのマリナーズ戦で、国歌を歌うチャンスが与えられますように…………。もっと新人がどんどん増えますように、夢は駆け巡る。



## ボードからのお知らせ

College of San Mateo アジア月間  
北カリフォルニア日本合唱連盟合唱祭  
2011年5月21日(土) 午後7時開演

### 合同演奏曲決定

上を向いて歩こう(指揮: 香川恵子さん)  
ヤイサマネナ(指揮: 三浦るり子さん)

### 合同練習

2011年5月1日(日) 午後 サンマテオライブラリー

### 日米合唱祭

2012年4月14日(土)  
War Memorial Harbst Theatre

### 第九を歌う

日米合唱祭での合同演奏に向けて準備進行中  
次回ボードミーティング

2011年3月18日(金) 午後7時  
サンマテオ おいどんレストラン

## 年頭に

この冬は例年になく寒いような気がいたしますが、皆様、いかがお過ごしでいらっしゃいますか？

アメリカに移り住んで10年、先日、免許証の書き換えが終わって、いつまでこの写真で更新するのだろうかと思いつきながら、この数年を振り返り、またこの先数年について考えておりました。そして、毎年、新年の抱負を考えてみるのですが、やはり今年も、皆様と一緒に音楽を楽しんでいけたらと願っております。とかく色々なことに興味を持つ(脱線する)私、“人生は総合芸術”と言ってみるこの頃です。

皆様にとって、幸多き一年となりますように。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



三浦るり子

## 北カリフォルニア日本合唱連盟役員紹介



**会長: 松浦 功 (まつうら いさお)**

1. コーラル・メイ
2. おひつじ座
3. 合唱より『ゴルフ、モーツァルトを聞きながらワインを飲むこと』が好きです。



**副会長: 黒田 豊 (くろだ ゆたか)**

1. コーラル・コスモ
2. いて座
3. 合唱より『和太鼓、旅、温泉(秘湯) Football(今はもちろん見るだけです)』



**副会長: 甲川英輔 (こうかわ ひですけ)**

1. コーラル・メイ / アンサンブル四季
2. かに座
3. 合唱より『剣道』(今は好きというより義理でやっています。あっちこっち体が傷んで来たのでいつまで続くか?)



**会計: 原田志麻 (はらだ しま)**

1. アンサンブル四季
2. さそり座
3. 合唱より『食べる事、読書、散歩 仕事、合気道』が好きです。



**書記: 山崎美紀 (やまさき みき)**

1. サンフランシスコ・フォレスト・クワイア
2. おひつじ座
3. 合唱より『読書。おいしいものを求めて友人たちと食べ歩き。息子と一緒に日本のアニメを観ること。』が好きです。

## 合唱連盟グループ紹介

### アンサンブル四季 / Ensemble Shiki (Mixed Chorus)

指揮者/音楽ディレクター: 三浦るり子

代表: 古田久子

<http://sites.google.com/site/ensemblshiki>  
[ensemblshikisf@gmail.com](mailto:ensemblshikisf@gmail.com)

練習: 第1、第3火曜日 午後7時~9時  
JCCCNC (1840 Sutter St, SF, CA 94115)

### コーラルコスモ / Choral Cosmo (Mixed chorus)

指揮者/音楽ディレクター: 香川恵子

代表: 本多良夫

<http://www.choralcosmo.com/>  
[info@choralcosmo.com](mailto:info@choralcosmo.com)

練習: 水曜日 午後7時30分~9時30分  
Aldersgate United Methodist Church  
4243 Manuela Ave, Palo Alto, CA 94306

### コーラル・メイ / Chorale May (Men's chorus)

指揮者/音楽ディレクター: 三浦るり子

代表: 甲川英輔

<http://sites.google.com/site/choralemay>  
[choralemay@gmail.com](mailto:choralemay@gmail.com)

練習: 第2、第4火曜日 午後7時~9時  
JCCCNC (1840 Sutter St, SF, CA 94115)

### さくらコーラス / Sakura Chorus (Women's chorus)

指揮者/音楽ディレクター: 榊原晴子

事務担当: マーシャル綾子

[ayako.marshall@sbcglobal.net](mailto:ayako.marshall@sbcglobal.net)

または、[harukos@att.net](mailto:harukos@att.net)

練習: 第1、第3日曜日 午後12時15分~2時  
Sacramento Japanese United Methodist Church

### サンフランシスコ・フォレスト・クワイア /

### San Francisco Forest Choir (Women's chorus)

指揮者/音楽ディレクター/代表: 三浦るり子

<http://sfforestchoir.typepad.jp/blog/>

[sfforestchoir@gmail.com](mailto:sfforestchoir@gmail.com)

練習: 木曜日 午前10時~12時

Pine United Methodist Church, San Francisco  
426 33rd Ave., SF



2010年4月9日 日米合唱祭 指揮: 外山浩爾さん

# 室生犀星のふるさと

二川丈夫

(Chorale May / Ensemble Shiki 所属)

ふるさとは遠きにありて思ふもの  
そして悲しく うたふもの  
よしやうらぶれて  
異土のかたひ(乞食)となるとても  
帰るところにあるまじや  
ひとり都のゆふぐれにふるさとおもひ涙ぐむ  
その心もて 遠きみやこにかへらばや  
遠きみやこにかへらばや (叙情小曲集)

2010年11月22日にサンフランシスコ・デービス・シンフォニー・ホールで行われた石川県、芸術・文化コンサートのステージで、室生犀星の「ふるさと」を整理した吟士達が轟々と詠い、数人の真剣を携えた剣士が華麗に、そして肅々と舞う舞台を観て心を奪われた。僕にとっては学生時代に何回も涙ぐんだ思い出のうた(詩)であり、当地サンフランシスコ・ラジオ毎日の音楽番組、「気まぐれ歌の旅」でも何回か取り上げたふるさとである。

中学の卒業アルバムに、同級生が、「ふるさとは、遠きにありて思うもの、そして悲しく歌うもの」と書いた。この一章が、室生犀星の叙情小曲集に収められた詩の一節である事を大学のグリークラブで知った。この歌は、磯辺淑という当時は無名の作曲家が、全日本合唱コンクール、男声課題曲の候補作品として応募したものである。それが著名な作曲家、清水脩作曲の「秋のピエロ」と最後まで競り合って一躍注目を集めた作品だ。僕が在学中、磯部さんは我々の先輩でグリーの常任指揮者だった。合唱をした事のある人なら、誰もが知っている「遥かな友に」を作詞・作曲し、脂が乗りかかった頃の名曲である。

この歌は在学中、定期演奏会、演奏旅行、卒業演奏会などのプログラムにはいつも取り上げられたから、何回歌ったか数え切れない。北陸演奏旅行中、金沢でも歌った。客席には、室生犀星ゆかりの方達をお招きしていた。歌が「一人都の夕暮れに、ふるさと思い涙ぐむ」のあたりに差し掛かった時、その中のご婦人がハンカチを出して顔を覆うのが見えた。突然、僕の後

ろから鼻をすする雑音とともに、「う〜」と低い泣き声が聞こえた。いつも涙もろい先輩である。又やってみな！ と思いながら、僕達も思わず涙ぐんだ。

翌年の卒業演奏会、卒業予定の学生指揮者は、歌舞伎役者と間違われる程ハンサムな人だった。現役として最後のステージで棒を振る「ふるさと」とあって、後輩の我々は、ある程度の覚悟をして歌っていたのだが、予想外の事が突然起きた。なんと、指揮者の大きな目から涙がポロポロとこぼれ落ちたのである。彼がそれを振り払うように顔を振ると、ひたいにかかった前髪がばさっと揺れ、涙がステージにぱっと散った。そしてスポット・ライトにキラッと光った。その時である、いつもの彼が「おう〜」と大声で泣いた。驚きながら僕達も一緒に泣いた。客席がどう反応したのか、何も見えなかった。

この室生犀星の「ふるさと」で良く分からないことがあった。最後にかけて「一人都の夕暮れにふるさと思い涙ぐむ、その心もて、遠き都に帰らばや」の「遠き都」はどこをさすのか、という事である。室生犀星がこの詩を都・東京で書いたとすれば、かたいとなっても帰りたくないふるさは金沢をさし、犀星にとって金沢は「遠き都」だったのかも知れぬ。この疑問は、一昨年、機会あって金沢を訪れた時に解けた。犀星がこの詩を書いた所は東京ではなく、金沢であった。作家を夢見て上京したが、思うようには仕事が出来ず、やむなく一旦金沢に戻ったときに、その挫折感を吐露したものだ。異土のかたいとなっても帰りたくない遠き都は、金沢ではなかった。都の夕暮れに、涙ぐみながら「帰りたい」と願ったのが、ふるさと金沢だった。

石川県芸術・文化コンサートでの吟詠は、犀星のふるさとを思う心をしみじみと詠い、剣詩舞が見事に舞ってみせた。



犀星のふるさと石川県と、岐阜県、福井県の県境にある白山連峰は、天気の良い日には左手遠くに望むことができる。(九頭竜川の辺にて。)

## 体験地元合唱団報告 第2回

三浦るり子

(Chorale May / Ensemble Shiki / SFFC 所属)

### その3 (6月29日)

体験練習2回目。場所は毎回違うらしく、この日は柿崎先生の赴任先の中学校でした。建って間もないのでまだ木のいい香りがしました。ちょっと響きすぎるのが難点です。無理なく歌えますけれどね。それにしても、日本の学校は設備が整っていますね。アメリカでは(私が関ってきた学校だけしか知りませんが)音楽室も無いし、ピアノもひどい物ばかりで驚いてしまいます。音楽の授業よろしく、黒板もふんだんに使い、オーディオも借用できるので恵まれていると思います。

書き忘れましたが、ここ鶴岡市は合唱が非常に盛んな町で、市内の中学校はかなりの人数の合唱部を抱えていますし、高校も然りです。そして、今回知ったことですが、この「土曜会」には、それらの学校の音楽教師が何人も所属しているのです！まさに切磋琢磨ですね。素晴らしいことです。

### その4 (7月5日)

さて、昨日の午後は、月2回のペースで活動している男声合唱団「デザミ アンティム」の練習を見学させていただきました。20名ほどいらっしゃいました。年齢層はコラル・メイと同じ感じです。指導者は二川さんの大学時代の先輩で、早稲田グリークラブの学生指揮もなさった青柳修氏です。昭和10年生まれ。元銀行マン。来週、ちょっとしたコンサートがあるようで、そのときに歌う「いざたて」「希望の島」(ちょっと歌詞が違いました)ウェルナーの「野ばら」、そして、来年の定期演奏会の曲の音取りでした。話が少しそれますが、ゲーテの詩『野薔薇』を扱ったドキュメンタリーを30年ほど前に北海道放送が作成しました。ゲーテのその詩には北海道放送が当時調査しただけでも、なんと140人近くの作曲家が曲をつけているのです。シューベルトの『野薔薇』はドイツリートの秀逸ですね。意外なのはウェルナーの『野ばら』は作曲家の地(ドイツ)でも知る人が少なく、これだけ全国津々浦々に広まっているのは日本くらいなものでした。どの作曲家がどの詩に曲をつけたか、というテーマでホームページを持っている人もいる

ほど、いい詩には誰しも曲をつけたくなるものなのですね。こんな風に1つの詩を巡る番組を作る北海道放送に本気で就職したいと思ったものです。フォレストクワイヤでは新曲に入ると、担当者を決めてその曲について色々調べますが、その発想の原点は実はこの番組にあるのかもしれませんが。

では、話を戻して、、、英語の発音はやはり大変らしく、ああでもない、こうでもない、と一生懸命でした。SWING LOW SWEET CHARIOT とロバート ショウ編曲の1曲 “When You and I were Young, Maggie” です。これも歌えるかなと思いました。楽譜入手しました；)

### その5

そしてその夜、また柿崎先生とお会いし、ここでも楽譜をどっさりいただいてきましたー！美しい曲にたくさん出会えて幸せです。先生のピアノに併せて大初見大会。この日は主に、児童合唱について。そうなのです、児童合唱団もあってかなり上手いのです。私が所属していた頃は楽しく歌える合唱団でしたが、いまや芸術的です…。小学3年生から中3までと言うので、明日の練習には娘も連れて行こうと思っています。

明日からはまとめて書かずに送れたらと思います。

では、また！

るり子

補足：先日、柿崎先生から分厚い封筒が送られてきました。土曜会の定期演奏会のプログラムと、鶴岡放送児童合唱団の発表会のCDです。柿崎先生作詞作曲、演出に寄るミュージカル『幸福な王子』(オスカー・ワイルド作)の手書きの台本とスコアも入っていました。『幸福な王子』と言えば涙なくしては読めない童話ですが、子供たちの透明な声尚更涙を誘います。夏にお会いした時にはまだ構想だけで曲も出来上がっていませんでしたが、あれからほとんどピアノの前に座ったまま、夏休みの終わりに完成させたと書かれていました。その情熱に脱帽です。今月末には鶴岡市合唱祭で寺嶋陸也編曲の『唱歌』を初演なさるらしいです。前回の報告にあった『荒城の月』もその中に入っています。混声、女声、男声、児童版を作るそうですから私たちも歌えそうですね。楽しみです！



# 小田原男声合唱団との交流

賀川正人

(Chorale May / Ensemble Shiki / Choral Cosmo 所属)

昨年4月の日米合唱祭にて日本からおいでになった小田原男声合唱団の皆さんとは今でも時々メールのやりとりをしています。皆様すでにご存知のように小田原男声合唱団は神奈川県小田原市で1971年に発足して以来40年も続く伝統ある合唱団です。合唱祭の前年2009年末にも同合唱団の練習を見学させていただいたのですが、昨年2010年冬に日本を訪れた際には、年末の忘年会があるのでぜひお出くださいとのお誘いを受けましたので、神奈川県人でありお酒に目のない私はさっそく小田原まで参上し、2回目の同合唱団訪問となりました。

小田原男声合唱団の定例練習場所は小田原駅近くの私立高校の音楽室です。校舎の階段を上っていくにつれすばらしい歌声が聞こえてきます。当日は強化練習ということで約40名の方が練習に参加されており、指揮者の牛丸さんの指導のもと2011年秋の40周年定期演奏会に向けて練習を開始したばかりなのですよ、とのお言葉とは裏腹に、皆さんしっかり音取りもできていて、さすがオダダン！という感じでした。40周年ということで、多田武彦、信長富貴両氏にそれぞれ委嘱した新曲もあるとのこと、とてもうらやましい！です。委嘱曲は未発売なので現時点では楽譜を譲っていただくことはできませんでしたが、次回日本に行くときには購入できることを期待しています。



練習のあとは記念写真を撮らせていただき、皆さんとの再会を喜び合いました(私は他の方のカメラで撮っていただいたのでこの集合写真には写っていませんが記念写真にもご一緒させていただきました)。

練習後に続く忘年会では、小田原駅近くのレストランを貸切で、皆さん私より年齢が上の方が多いのですが、さすが男声合唱だけあって大変な勢いでお酒がなくなっていく。飲めや歌えや(もちろん男声合唱



曲)の大騒ぎの中、宴は続き夜は更けてゆくのでした。私は終電が無くなる前に団長の一色さん、技術部長の福井さんをはじめ皆さんとの再会を約束しつつ小田原駅を後にしたのでした。また来年もお邪魔します！  
(小田原男声合唱団のホームページ <http://www.odadan.jp/>)

## 関連団体コンサート案内

### ▶ Choral Cosmo 第12回定期演奏会

2011年2月19日(土) 午後7時  
Prince of Peace Lutheran Church, Saratoga  
12770 Saratoga Ave., Saratoga, CA 95070

### ▶ Madama Butterfly

出演: Choral Cosmo の指揮者香川恵子さん他。  
北カリフォルニア日本合唱連盟メンバー多数出演。  
2011年4月2日(土) 午後5時  
Santa Clara University Recital Hall  
Lafayette St. & Franklin St., Santa Clara, CA  
<http://www.communityopera.com>  
チケット: \$25 (for Adult) \$15 (for Child)  
408-377-9784 info@communityopera.com

### ▶ College of San Mateo 『アジア月間』

北カリフォルニア日本合唱連盟合唱祭  
2011年5月21日(土) 午後7時~8時30分  
CSM Theatre  
1700 W. Hillsdale Blvd., San Mateo, CA 94420

### ▶ 日米合唱祭

2012年4月14日(土)  
War Memorial, Herbst Theatre  
401 Van Ness Ave, SF, CA 94102



♪ 思い出のひとコマ ♪  
♥ Choral Cosmo ♥



12月15日  
Saratoga  
Senior Center  
のクリスマス・  
パーティでクリ  
スマスソングメ



ドレーを歌った時の写真です(サンタクロースも自前です。中身はKentさん)。この日は水曜日のランチタイムだったのですが仕事のある人達はそれぞれ前もってスケジュールを調整し、昼休みに仕事から抜け出して参加しました。トナカイの角をつけたりサンタの帽子をかぶったりして、合計12曲、約40分ほど歌いました。“Have yourself a merry little Christmas”の曲ではサンタクロースがテナーのソロの部分を使いながら客席のテーブルを回るというパフォーマンスも。シニアの皆様にとっても喜んでもらえて、私達も楽しかったです。

・コーラル・コスモの定演が間近に迫りました・

第一部：Lacrymosa

Worthy is the lamb that was slain  
Higher and Higher

第二部：宵待草

斎太郎節  
あんたがたどこさ  
赤とんぼ

第三部：青葉城恋唄

We Are the World 25 for Haiti\*  
ビューティフル・ネーム\*  
Merry Widow Waltz (Lippen Schweigen)

( \* 印の2曲にはキッズコーラスが加わります。)

第四部：I Left My Heart in San Francisco  
Here Comes the Sun  
Celebration  
Bridge Over Troubled Water

練習にも次第に拍車が掛かってきました。皆様お誘いあわせて、ぜひご来場ください。(福井良子)

編集後記

もえあがれ 雪たち.....



君たちの結晶が 惜しげなく地の果てに降り注ぐ今こそ (オー)

もえあがれ雪たち 青い炎の色に

(坂田寛夫作詞、宇野誠一郎作曲)

「日本海側、北日本は大雪」のニュースが流れている。「もずが、去年より高い枝にえさを付けているんやって。今年の冬は雪がたくさん積もるらしいで。」という話を昨秋していた人たちは、雪の夜にコタツとみかんを囲んで、『もずの速贄(はやにえ)』談をさぞかし繰り返していることだろう。雪国の冬の暮らしは楽ではないけれど.....しんと雪は降り続く。

ちょうどふるさとの記事を読ませていただいたからでしょうか、少々感傷的に田舎の雪景色を思い出している。自然とともに暮らしてきた先達のたくさんの経験と感の話聞きに、またすぐにでも故郷に帰らばや、である。



次号第10号(3月末日発行)には、榊原晴子さんの『歌と私』、三浦るり子さんの連載『体験地元合唱団報告・第3回』、その他未知の原稿(ご投稿をお待ちしています)を掲載予定です。ご期待ください。

連盟だより既刊号：

<http://www.jcfnc.org/Home/newsletters>

連盟だより 第9号

発行者：松浦 功

編集者：八木 妙子

発行：2011年1月31日

北カリフォルニア日本合唱連盟

Japanese Choral Federation of Northern California  
info@jcfnc.org <http://www.jcfnc.org>